

冠者連

冠者連頭 山浦 正良

冠者連を結成して10年あまり、今振り返って見るといろいろな事がありました。野方区では、青年部を主体に神輿を担いでいましたが人数の減少と、もっとかっこよく担げないかと思う有志が集まり半纏をそろえ冠者連を作りました。

まず、神輿の改造、軽量化に着手ほとんど素人の集まりです。延べ日数で2ヶ月間掛かり本番えんでこに間に合うか心配しました。苦勞の甲斐有り何とか当日までには間に合い担ぐことができました。



秋には、野方冠者大明神の例大祭があり野方区の主要道路に燈籠を設置しますので、ご通行のさいは是非見ていってください。

「自分が楽しもう」1人が楽しそうだと周りの人も楽しくなるのではをもっとうに活動しています。

立科町えんでこ祭りにおいては、神輿連絡会のみなさんと毎年変わったコースを考え神輿の運行時間・締め時のタイムング・御泉水太鼓のみなさんとのコラボレーション等ある時は役場の担当職員の方と話し合い会議を行っております。

町民まつり立科えんでこには毎年参加しておりますが年々参加人数が少なくなるような気がします。先に記したように自分「町民」が楽しければ町外のみなさんも楽しかった又立科行こうよというふうになるような気がします。

中山道の宿場町、何かいい祭りを盛り上げる方法を神輿連絡会のみなさんと考えていきたいと思っております。

赤沢神輿 暁乃会

それは自分にとって衝撃的な出来事でした。

正直それまであまり興味がなかったお祭りに知人に誘われて出掛けました。そこである地区の神輿を担ぐ機会があり、試みに担いでみました。はじめは神輿の重さに肩が悲鳴をあげていましたが、そのうちに神輿の動きに体を任せるようにしたところ、痛みも無くなり、逆に楽しくなってきたのです。赤沢区には子供神輿はありましたが「これはもうやるっきゃない」。そのまま区のテントに戻り、「来年赤沢区の大人神輿を担ぎます！」と宣言してしまいました。

しかしその後が大変でした。まず神輿の製作ですが、日向地区の山浦正利さんに草案を見せて全て手作りして頂きました。メンバー皆で手分けして塗装もしました。出来合いの神輿もいけれど自分たちで心を込めて作った神輿はとも立派だと思えます。

次に衣装ですがオリジナルの暁のロゴが背中に入った法被とダボシャツ、担ぎ手は全員黒ずくめといった独特なスタイルです。平成16年夏、暁会は町民祭りえんでこにデビューしました。現在会員47名、夏のお祭りだけでなく秋の蓼科山登山、冬の綱引き等一年を通して活動しています。

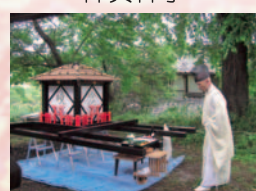
赤沢区、ひいては立科町の発展の為に少しでも貢献出来たら幸いです。興味のある方はどうぞお気軽にお声を掛けてください。暁会のホームページも開設していますのでそちらもヨロシク！最後に口頃から暁会にご協力ご理解を頂いています赤沢区の皆さんに感謝申し上げます。

暁会代表 山木富士男

神輿作成



神輿神事



venusline.net/akatsuki



綱引き参加



蓼科山登山

